

## 交付運用報告書

# DIAM人民元債券ファンド

追加型投信／海外／債券

第10期＜決算日2015年12月15日＞

作成対象期間：2015年6月16日～2015年12月15日

第10期末（2015年12月15日）	
基準価額	15,695円
純資産総額	573百万円
第10期	
騰落率	△5.3%
分配金合計	230円

（注）騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「DIAM人民元債券ファンド」は、2015年12月15日に第10期の決算を行いました。

当ファンドは、主として円建ての外国投資信託への投資を通じて、人民元建て債券に実質的な投資を行い、為替益の獲得と金利収益の獲得により、中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

### <運用報告書に関するお問い合わせ先>

**☎コールセンター：0120-506-860**

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで  
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、以下の方法により閲覧、ダウンロードいただけます。なお、運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

### <閲覧方法>

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」等から「運用報告書一覧」⇒当ファンドのファンド名称を選択

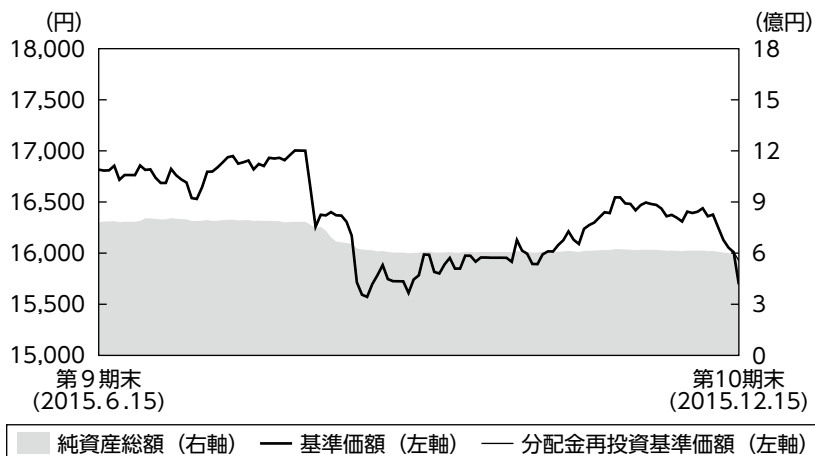
**DIAMアセットマネジメント株式会社**

東京都千代田区丸の内3-3-1

（URL） <http://www.diam.co.jp/>

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移



第10期首：16,816円  
 第10期末：15,695円  
 (既払分配金230円)  
 騰落率：△5.3%  
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

中国の債券市場は上昇したものの、2015年8月の人民元の切り下げを受けて人民元/円相場で円高人民元安が進行したことがマイナスに寄与し、基準価額は下落しました。

### ◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
フルトン ルクス ファンズーRMB ボンズ Jシェア	△5.2%
D I A M マネー マザー ファンド	△0.0%

(注) フルトン ルクス ファンズーRMB ボンズ Jシェアの騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第10期		項目の概要
	(2015年6月16日 ~2015年12月15日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	73円	0.448%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は16,341円です。
(投信会社)	(35)	(0.216)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(35)	(0.216)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、 口座内でのファンドの管理等の対価
(受託銀行)	( 3)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行 等の対価
(b) その他費用	0	0.003	(b) その他費用 = 期中のその他費用 / 期中の平均受益権口数
(監査費用)	( 0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	74	0.451	

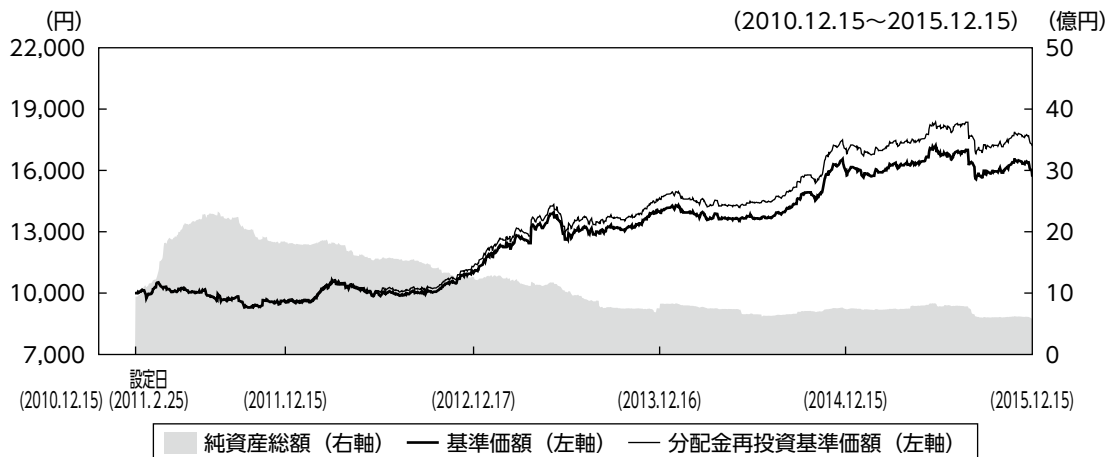
(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

## 最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。

(注2) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注3) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

		2011年2月25日 設定日	2011年12月15日 決算日	2012年12月17日 決算日	2013年12月16日 決算日	2014年12月15日 決算日	2015年12月15日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	10,000	9,559	10,985	13,994	15,975	15,695
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	80	200	250	280	430
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	△ 3.6	17.1	29.8	16.3	0.9
純資産総額	(百万円)	943	1,833	1,256	750	739	573

(注1) 設定日の基準価額は、設定当初の投資元本です。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

## 投資環境

米国の利上げ時期を巡る不透明感や新興国景気の減速懸念を背景に世界的に債券市場は不安定な展開となりました。2015年8月の人民元の切り下げを受け、中国景気の先行きに対する警戒感が台頭したことから投資家のリスク回避姿勢が高まり、中国の債券市場は下落しました。その後は、中国人民銀行が景気下支えのための金融緩和策を実施したことから、債券市場は上昇しました。

為替市場では、米国の利上げや新興国の景気減速などへの懸念を背景としたリスク回避の動きから、多くの通貨に対して円高が進行しました。人民元／円相場においても、人民元の切り下げを受けた投資家のリスク回避姿勢の高まりを主因に、円高人民元安となりました。

国内短期金融市場では、日銀が「量的・質的金融緩和」を継続していることや、ECB（欧州中央銀行）をはじめとする複数の海外中央銀行が金融緩和を強化している影響などから、利回りが低い水準に抑えられ、3ヵ月物国庫短期証券の利回りは概ね0%前後で推移しました。

## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

フルトン ルクス ファンズー RMB ボンズ J シェアの組入比率は原則として高位を維持し、D I A M マネーマザーファンドへの投資も行いました。

### ●フルトン ルクス ファンズー RMB ボンズ J シェア

金融市場の不安定な動きや経済成長見通しの不透明感などを背景に投資家のリスク回避姿勢が高まる局面においては現金等の比率を高め維持し、デュレーション（金利変動に対する債券価格の変動性）については短めとするなど、慎重な姿勢を維持しました。また、財務内容が良好で割安な企業の社債に投資を行いました。

### ●D I A M マネーマザーファンド

コール・ローン等の短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い政府保証債を中心とした運用を行いました。

## 分配金

当期の収益分配金につきましては、運用実績等を勘案し、利子・配当等収益から1万口当たり230円とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2015年6月16日 ～2015年12月15日
当期分配金（税引前）	230円
対基準価額比率	1.44%
当期の収益	228円
当期の収益以外	1
翌期繰越分配対象額	6,461

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

引き続きフルトン ルクス ファンズー RMB ボンズ J シェアを高位に組入れることを基本とした運用を行い、為替益と金利収益の獲得により、信託財産の成長をめざします。また、D I A M マネーマザーファンドへの投資も行います。

### ●フルトン ルクス ファンズー RMB ボンズ J シェア

米国の金融政策の転換に伴い市場が不安定となり、また、世界景気の減速が続くとの見通しから、金利リスクを抑えたポジションを維持します。中国の潤沢な外貨準備高や経常黒字に加え、米国の利上げを受けたドルの上昇から人民元も今後は強含むと予想されます。このような環境下、財務内容が良好で割安な企業の社債を選別して投資する方針です。

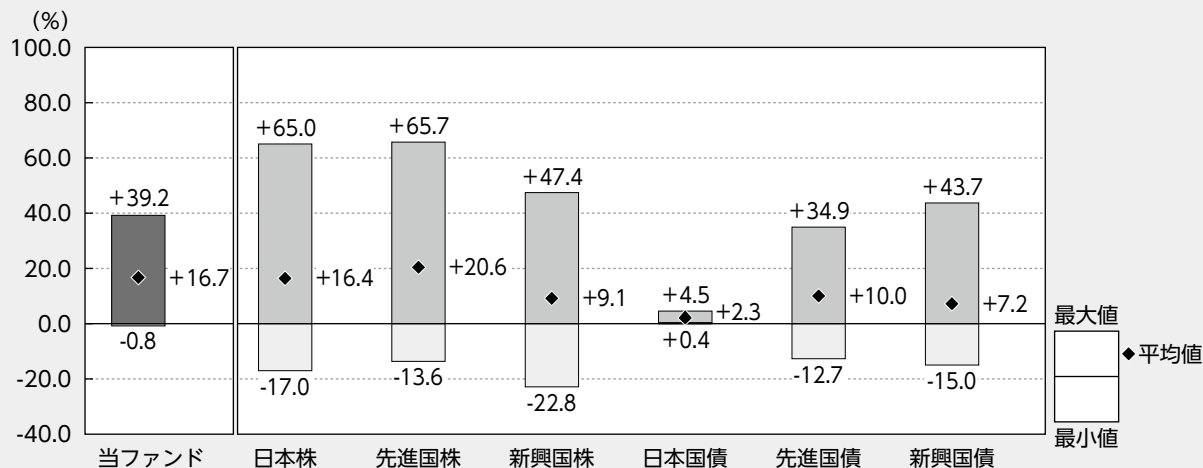
### ●D I A M マネーマザーファンド

日銀は2%の物価上昇率の目標を達成するため、積極的な金融緩和政策を続ける方針であり、短期債の利回りは長期に亘って低い水準にとどまると考えられます。このような環境の中、政府保証債や地方債を含む比較的リスクの少ない債券を中心とした投資を継続し、安定的な利子等収益の確保をめざします。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2011年2月25日から2021年6月15日までです。
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。
主要投資対象	主として円建ての外国投資信託である「フルトン ルクス ファンズー RMB ボンズ J シェア」の投資信託証券へ投資を行います。また、「DIAMマネーマザーファンド」受益証券への投資も行います。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
運用方法	主として外国投資信託への投資を通じて、人民元建て債券に実質的な投資を行います。 外国投資信託への投資比率は、原則として高位を保ちますが、当ファンドの資金動向等を勘案して決定します。 実質的に組入れる外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への直接投資は行いません。
分配方針	決算日（原則として6月15日および12月15日）に、経費控除後の利子配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンド : 2012年2月～2015年11月  
 代表的な資産クラス : 2010年12月～2015年11月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものととして計算しています。

## \*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (円ベース、配当込み)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (円ベース、配当込み)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。

- 「東証株価指数 (TOPIX)」は、株式会社東京証券取引所 (株東京証券取引所) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株東京証券取引所)が有しています。なお、本商品は、(株東京証券取引所)により提供、保証又は販売されるものではなく、(株東京証券取引所)は、ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が公表しているインデックスで、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に属しており、また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。
- 「シティ世界国債インデックス」に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はシティグループ・インデックスLLCに帰属します。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド」に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティー・エルエルシーに帰属します。



## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

#### ◆組入ファンド等

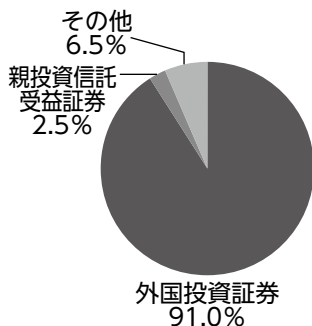
(組入ファンド数：2ファンド)

	当期末
	2015年12月15日
フルトン ルクス ファンズー RMB ボンズ Jシェア	91.0%
D I AMマネーマザーファンド	2.5
その他	6.5

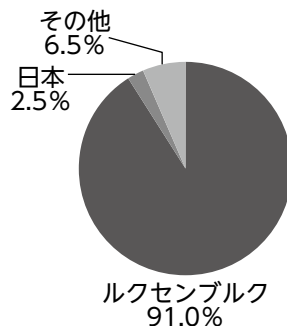
(注1) 比率は当期末における純資産総額に対する組入有価証券評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

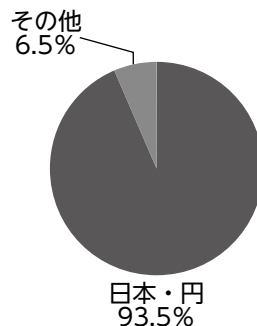
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



(注1) 比率は当期末における純資産総額に対する組入有価証券評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

### 純資産等

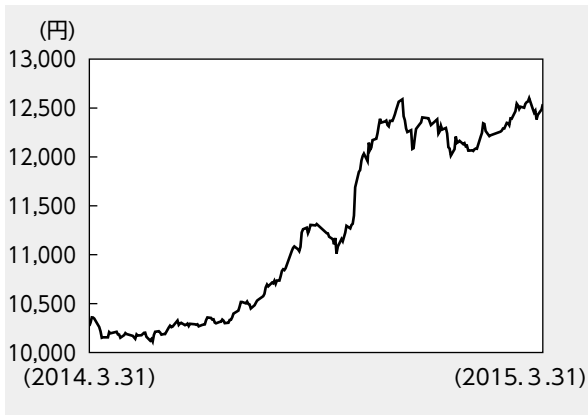
項目	当期末
	2015年12月15日
純資産総額	573,293,230円
受益権総口数	365,271,713口
1万口当たり基準価額	15,695円

(注) 当期中における追加設定元本額は20,879,863円、同解約元本額は119,198,468円です。

## 組入ファンドの概要

[フルトン ルクス ファンズー RMB ボンズ J シェア] (計算期間 2014年4月1日～2015年3月31日)

## ◆基準価額の推移



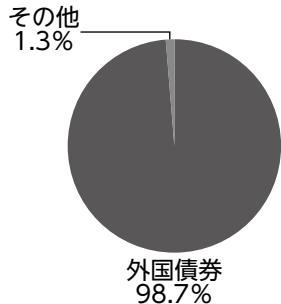
## ◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
CGB 4% 11/09/17	中国・元	6.0%
CGB 3.89% 18/08/16	中国・元	5.3
CGB 4.02% 3/07/21	中国・元	4.6
CGB 3.99% 21/07/16	中国・元	4.5
CGB 2.76% 12/02/16	中国・元	4.4
CGB 4% 19/06/24	中国・元	3.8
GLPSP 3.375% 11/5/16	オフショア・人民元	2.3
CGB 3.82% 14/08/15	中国・元	2.2
BJCAPT 7.6% 29/11/15	オフショア・人民元	1.8
CHMERC 3% 30/06/16	オフショア・人民元	1.8
組入銘柄数	124銘柄	

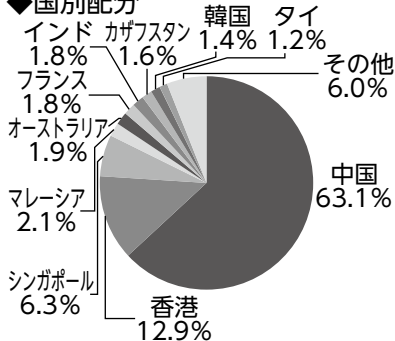
## ◆1口当たりの費用明細

当該情報の取得が不可能なため開示しておりません。

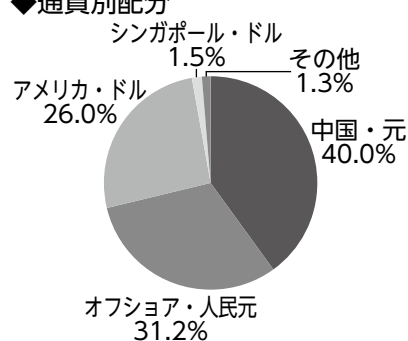
## ◆資産別配分



## ◆国別配分



## ◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移はフルトン ルクス ファンズー RMB ボンズ J シェアの計算期間のもので、分配金を再投資したものとしてD I AM アセットマネジメントが作成したものです。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、フルトン ルクス ファンズー RMB ボンズの決算日現在の状況を表示しております。

(注3) 比率はフルトン ルクス ファンズー RMB ボンズの純資産総額に対する組入有価証券評価額の割合です。

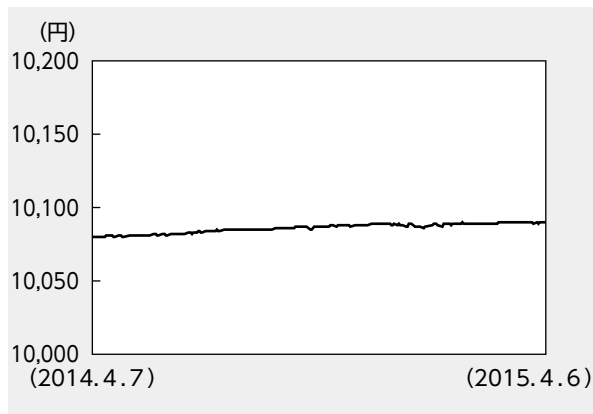
(注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は、未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注5) 国別配分については、上位11位以下をその他に含めて集計しています。

(注6) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、投資顧問会社であるフルトン・ファンド・マネジメント・カンパニー・リミテッドのデータを基にD I AMアセットマネジメントが作成したものです。組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【DIAMマネーマザーファンド】（計算期間 2014年4月8日～2015年4月6日）

◆基準価額の推移



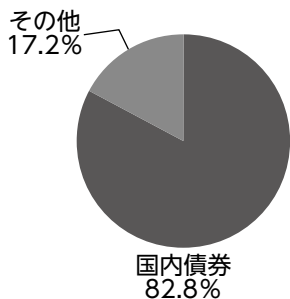
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
855回 政保公営企業債券	日本・円	18.1%
189回 政保預金保険機構債券	日本・円	10.5
853回 政保公営企業債券	日本・円	7.5
11回 政保日本政策投資銀行債券	日本・円	5.9
2回 政保東日本高速道路債券	日本・円	4.5
345回 政保道路債	日本・円	4.3
146回 政保阪神高速道路債	日本・円	4.1
150回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	日本・円	3.2
852回 政保公営企業債券	日本・円	2.5
863回 政保公営企業債券	日本・円	2.1
組入銘柄数	52銘柄	

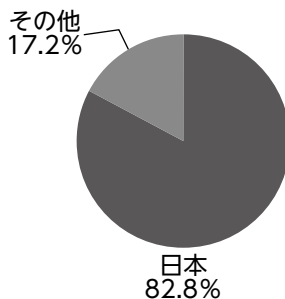
◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

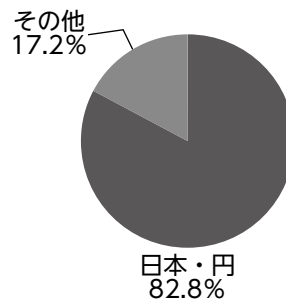
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので。

(注2) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注3) 比率は純資産総額に対する組入有価証券評価額の割合です。

(注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。